

令和6年度 学校教育目標「挑戦 つながる笑顔 丹那の子」

重点目標「自ら学び、共に高め合う子」「自分の思いや考えを言葉で表現できる子」



丹那小だより

函南町立丹那小学校
令和7年2月発行

地域へ感謝の心をのせて

校長 土屋 清隆

1月13日、丹那地区でどんど焼きが行われました。この伝統行事は、古くから地域に根付いているものであり、火のぬくもりや煙の香りを通じて、地域の人々が大切にしてきた思いや祈りを感じることができました。

どんど焼きは、地域の人々が力を合わせて、次世代に受け継ぐべき文化の一部です。子供たちがこの場で地域の方々と交流し、伝統の中に息づく日本の文化や価値観に触れることで、自分たちがどのような場所で育ち、どのような人々に支えられているのかを知ることができます。

函南町内でも、年々どんど焼きを中止する地区が増えています。開催場所が確保できない、子供会がなくなった、コロナ以降開催していない等それぞれの地区の事情があります。そのような状況の中で、丹那の子供たちは本当に幸せだなと実感します。

地域の中で育つ子供たちは、学校だけでなく地域全体の宝物です。どんど焼きのような行事を通じて、地域の温かさやつながりの大切さを感じながら成長していく姿を見ると、この素晴らしいつながりを大切に、子供たちにとってより良い未来を築くことの重要性を改めて実感します。



本校では、3rd Mission「ありがとうの会」に向けて、学びの協働性や多様性に感謝する取組を重ねています。本校の学校運営は実に多くの方々による力によって支えられており、子供たちと教職員だけの努力では、とても賄いきれないことを日々実感しています。ゲストティーチャーとして学びの機会をご提供くださった方々、暑い日も寒い日も花壇等の環境整備にご尽力くださる方、校内に季節の草花を飾ったり、アルミ缶回収活動に協力くださったたりして下さる地域住民の方々など、本校を応援して下さる皆さんを数え切ることができません。本当に有難いことですし、「地域の子供を地域で育ててくださる」ことに感謝の気持ちでいっぱいです。

自分のために力を貸して下さる人の思いをしっかり受け止め、感謝の思いをきちんと伝えることができる子供たちがたくさんあふれる学校や地域にしていきたいものです。

毎朝、校門前に立ち子供たちに声をかけ、安全を見届けて下っている藤村さんの7年間に渡る活動が、静岡県「小さな親切」運動実行章として表彰されました。地域で子供の安全を見守ろうとする取組に感謝いたします。これからもよろしくお願いします。



1月29日（水）校長室にて表彰状をお渡ししました。